

令和2年度版 改善計画

学校名：富士北稜高等学校

No.	項目	現状と課題	R3年度に目指すべき状態	①R2年度に実施する内容 ②R3年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	会議時間を短縮できる余地がある。	すべての会議時間を1時間以内とする。	① 資料の事前配付を行い、所要時間を1時間以内とする。 ② さらなる会議回数の縮減と所要時間の短縮方法を検討する。	
2	学校行事の負担軽減	行事が多く、削減が必要である。	行事の見直しにより、統廃合を実現する。	① 来年度に向けて行事の精選を行う。 ② 行事の精選を行い、各分掌の負担を軽減する。	
3	校内組織の見直し	分掌・委員会等、多くの組織が存在している。	委員会組織の削減。	① 委員会組織の構成員を検討し最小化する。 ② 委員会組織の統廃合と構成員を削減する。	
4	業務の効率化	昨年度の行事等の反省が、活かされていない。	行事等終了後に検証し、次年度に向けた効率化を考える。	① 年間を通じた行事と検証結果をまとめ、引継ぎ資料とする。 ② 引継ぎ資料の標準化。	
5	部活動の負担軽減	休養日が少ない部活動がある。主顧問に多くの負担がかかっている。	やまなし運動部・文化部活動ガイドラインにできる限り沿った運用。	① 月に6回以上の休養日を設定する。 ② やまなし運動部・文化部活動ガイドラインにできる限り沿った運用を行う。	
6	地域人材の活用	外部団体との連携により、教員の負担減を行っている。	外部団体との連携を密にし、さらなる教員の負担減を行う。	① これまで以上に外部団体との連携推進を図る。 ② 総合的な探求の時間の外部団体等とのさらなる連携を検討する。	
7	(学校独自の項目)	検定試験が多く、教員の負担も大きい。	検定の精選及び外部指導者の活用を行う。	① 各系列で検定の見直しをする。 ② 外部指導者の活用の検討を行う。	

※達成状況：次のA～Dで評価し、各年度末に県立学校は県教育委員会へ、公立小中学校は市町村（組合）教育委員会へ提出する。

A 達成できた B ある程度は達成できた C あまり達成できなかった D 達成できなかった

※様式は、必要な項目が含まれていれば、適宜、変更して使用して差し支えないこと。